

学外資金獲得

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度奨学金

年度	交付金 (千円)	実習生数 (名)	交付単価 (千円)	実習先	実習期間
2014	1,120	14	80	Seton Hill University	2014年7月31日～8月12日(11泊13日)
2015	880	11	80	Seton Hill University	2015年7月30日～8月11日(11泊13日)
2016	880	11	80	University of Hawaii at Hilo	2017年2月16日～2月27日(10泊12日)

科学研究費

年度	研究種目	研究者	交付額(千円)		研究課題
			直接経費	間接経費	
2011	若手研究(B)	石崎 保明	600	180	用法基盤モデルに基づく句動詞の共時的・通時的研究
2011	基盤研究(C)	五島 敦子	500	150	アメリカにおける産学官連携組織の形成過程と教育的機能
2011	若手研究(B)	森泉 哲	1,000	300	家族コミュニケーションパターンと対人コミュニケーション様式の関連性: 日米比較研究
2012	基盤研究(C)	石崎 保明	700	210	前置詞句を含む表現の歴史的発達に関する構文文法的研究
2012	基盤研究(C)	五島 敦子	700	210	アメリカ高等教育における知的財産権のガバナンスに関する歴史研究
2012	若手研究(B)	森泉 哲	700	210	家族コミュニケーションパターンと対人コミュニケーション様式の関連性: 日米比較研究
2013	基盤研究(C)	石崎 保明	500	150	前置詞句を含む表現の歴史的発達に関する構文文法的研究
2013	基盤研究(C)	五島 敦子	1,100	330	アメリカ高等教育における知的財産権のガバナンスに関する歴史研究
2013	若手研究(B)	森泉 哲	700	210	家族コミュニケーションパターンと対人コミュニケーション様式の関連性: 日米比較研究
2013	挑戦的萌芽研究	北村 雅則	1,100	330	協同による知識の体系化・視覚化システムを用いたライティング指導法の研究
2014	基盤研究(C)	石崎 保明	500	150	前置詞句を含む表現の歴史的発達に関する構文文法的研究
2014	基盤研究(C)	五島 敦子	700	210	アメリカ高等教育における知的財産権のガバナンスに関する歴史研究
2014	挑戦的萌芽研究	北村 雅則	700	210	協同による知識の体系化・視覚化システムを用いたライティング指導法の研究
2015	基盤研究(C)	五島 敦子	700	210	1930年代アメリカ高等教育における大学拡張部の意義
2015	基盤研究(C)	石崎 保明	700	210	近・現代英語期における英語表現の構文化に関する研究
2015	挑戦的萌芽研究	北村 雅則	900	270	協同による知識の体系化・視覚化システムを用いたライティング指導法の研究
2016	基盤研究(C)	五島 敦子	600	180	1930年代アメリカ高等教育における大学拡張部の意義
2016	基盤研究(C)	石崎 保明	600	180	近・現代英語期における英語表現の構文化に関する研究
2017	基盤研究(C)	五島 敦子	1,000	300	1930年代アメリカ高等教育における大学拡張部の意義
2017	基盤研究(C)	石崎 保明	600	180	近・現代英語期における英語表現の構文化に関する研究
2019	基盤研究(C)	中田 晶子	700	210	Vladimir Nabokovの小説に隠された分析哲学者の研究

科学研究費分担金

開始	研究種目	研究分担者	終了年度	代表者機関	代表者所属	研究代表者
2011	基盤研究(C)	五島敦子	2013	東北大学	高度教養教育・学生支援機構	羽田 貴史
2014	挑戦的萌芽研究	北村 雅則	2016	国立国語研究所	言語資源研究系	山口 昌也
2015	基盤研究(C)	森泉 哲	2017	静岡県立大学	国際関係学部	藤巻 光浩
2015	基盤研究(C)	伊藤 聡子	2017	立命館大学	文学部	吉田 恭子